

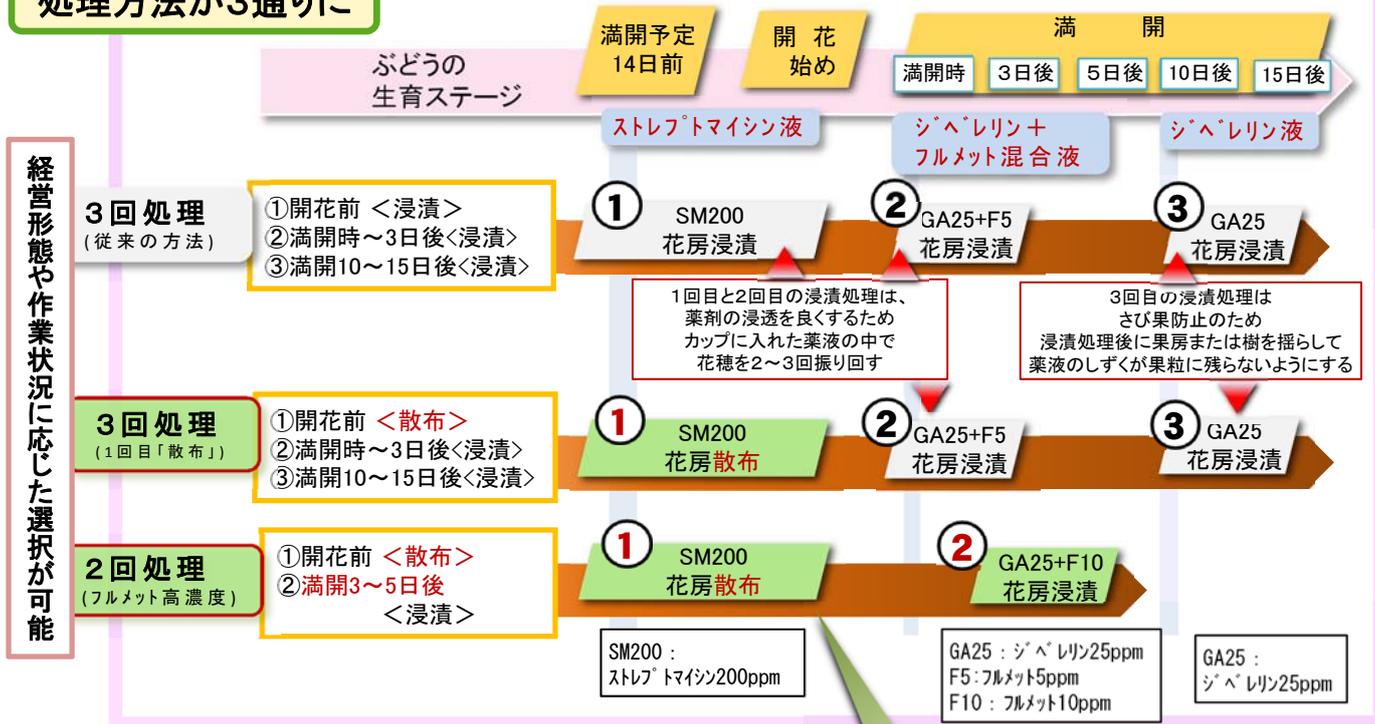
ぶどう「シャインマスカット」の 種無したねなしの新しい作り方

りんご研究所

「シャインマスカット」の種無しぶどうの作り方では、従来、合計3回の薬液による浸漬処理が必要でした（「開花前」、「満開時」及び「満開10日後」）。

今回、開花前の処理を浸漬から散布に変えても、または、満開時の薬剤の濃度を変えて処理回数を合計2回にしても、従来の方法と同品質の果房を生産できることが明らかになったので、その使い方を紹介します。

処理方法が3通りに



経営形態や作業状況に応じた選択が可能

効果

3回処理
(1回目「散布」)

1回目の処理を「散布」にする

上向きや横向きの花穂にでも処理が容易になる

2回処理
(フルメット高濃度)

1回目「散布」+2回目「フルメット高濃度」

満開時から満開5日後まで処理時期を延ばせる



注意点

最新の農薬登録確認を

本技術を利用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報提供システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)を確認してください。

薬液について

- ◆フルメット液剤はジベレリン以外の薬剤との混用を避ける。
- ◆調製した薬液は、できるだけ当日中に使用する。
- ◆薬剤の使用説明書を良く読んでから使用する。

お問い合わせ

りんご研究所 県南果樹部 (TEL0178-62-4111) ・栽培部 (TEL0172-52-2331)